



地域連携担当への期待

津山教育事務所 H24.5

基本的な生活習慣の乱れ、体験活動の不足、コミュニケーション能力の低下等、児童生徒に関する課題が指摘され、本県では不登校や暴力行為等の問題行動の解決は早急な対応がせまられています。このような状況の中、県内各地で地域の様々な方が学校教育活動を支援する取組が広がっています。地域との結びつきを大切に開かれた学校づくりを進めるため、明確な学校の窓口として「地域連携担当」を校務分掌に位置付けることになりました。

「地域連携担当」に求められる役割



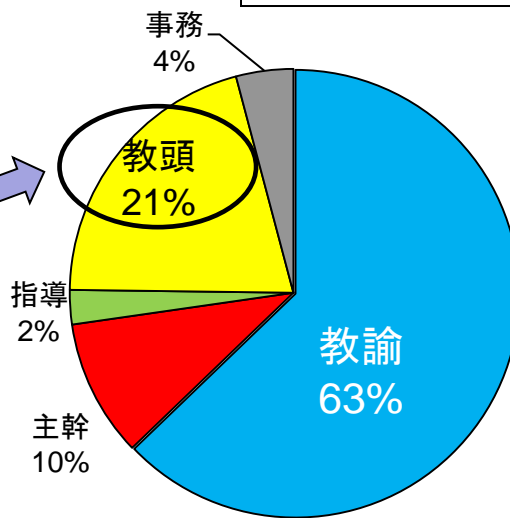
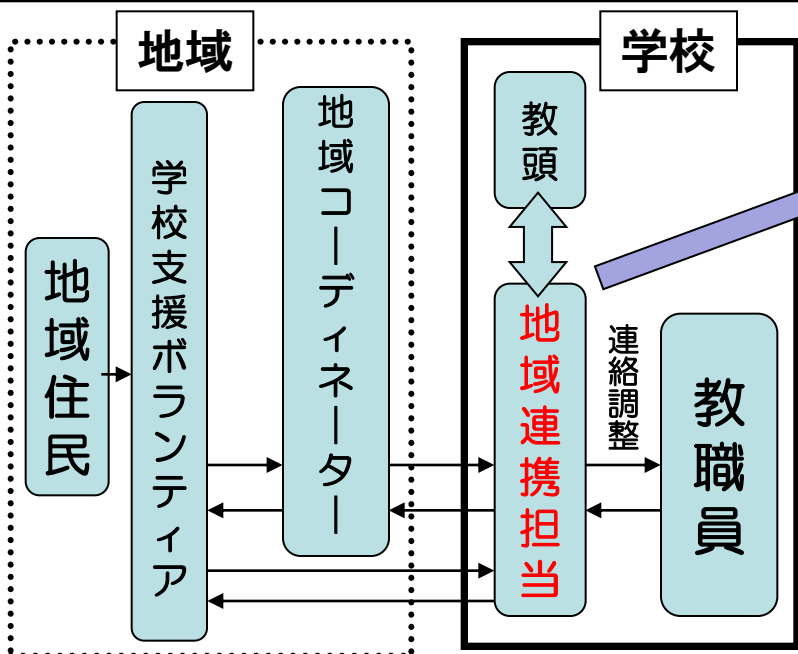
【学校内で】

- ・学校内のニーズの把握と調整
- ・地域からの情報を教職員へ伝達
- ・地域連携に関する研修等、教職員への共通理解
- ・地域と連携した学習活動の計画

【学校外へ向けて】

- ・家庭地域へ学校情報を積極的に発信
- ・地域(支援員やコーディネーター等)との連絡調整
- ・学校の課題や願いについて話し合いの場の設定

できることから一つずつ始めていきましょう



地域連携担当を担う職種の割合
～津山教育事務所管内～

地域側の窓口となる地域コーディネーターの方が明確な場合はより効果的、効率的な取組になります。そのような方がいない場合、教育委員会や公民館長等に地域の人材を紹介してもらいながら進めることが効果的です。

校内では教頭と連携協力を図りながら具体的な取組のできる組織体制づくりを進めましょう。